



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟
編集・発行人 小合信也
東京都文京区後楽1-7-12
〒112-0004 林友ビル6階
電話 03(3818)2906
FAX 03(3818)2907
毎月1回1日発行
定価・年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

7月豪雨被害お見舞い

平成30年7月豪雨災害によって亡くなられた方々に哀悼の意を表しますと共に、被災者の皆様に衷心より、お見舞い申し上げます。当連盟の会員市場については、広島県で原木市場、製品市場各1で事務所・倉庫の浸水並びに原木の流出、愛媛県で原木市場の選木機の浸水等の被害報告がありました。豪雨被害からの速やかな御快復、御復興をお祈り申し上げます。

主要木材の需給見通し(平成30年第3四半期及び第4四半期)

平成30年6月26日、林野庁は、平成30年度第1回の木材需給会議を開催し、「主要木材の需給見通し(平成30年第3四半期及び第4四半期)」を取りまとめ、公表した。

I 見通しの要点

1. 平成30年第3四半期(7~9月)の需給は、国産材製材用丸太及び国産材合板用丸太は、前年同期に比べ増加する一方、合板は前年同期と同程度、輸入丸太、輸入製材品及び構造用集成材は、前年同期に比べ減少する見通し。

主要木材の入荷量等の概要

Table with columns for Domestic Roundwood (製材用, 合板用), Imported Roundwood, Imported Lumber, Plywood, and Structural Laminated Wood. Rows include 26th year actuals, 27th year actuals, 28th year actuals, 29th year 1st-4th quarters actuals, 29th year total actuals, 30th year 1st-4th quarters forecasts, and 30th year total forecast.

(単位: 千m³, %) (括弧内は前年比又は前年同期比)

2. 平成30年第4四半期(10~12月)の需給は、国産材合板用丸太及び輸入丸太は、前年同期に比べ増加する一方、輸入製材品及び合板は前年同期と同程度、国産材製材用丸太及び構造用集成材は、前年同期に比べ減少する見通し。
3. 平成30年度の新設住宅着工戸数は、増加要因として、消費税率引き上げ前の駆け込み需要が想定されるが、一方、

貸家着工戸数は減少が予想され、全体として、前年度に比べ減少すると見込まれる。
II 資料の概要(抄)
1. 一般経済の動向 2018年度の実質GDP成長率は前年比+1.0%と4年連続でプラス成長と見込まれる。雇用・所得情勢の改善が続く中で、個人消費も底堅さを維持する見込み。2019年度は、消費税率が10%に引き上げられると想定、駆け込み需要・反動減とも前回と比べ小規模にとどまる。消費者マインドの悪化も一時的にとどまる。公共投資を中心に経済対策が打ち出されると想定しており、実質GDP成長率は前年比+0.8%とプラスを維持すると見込まれる。

2. 住宅着工見通し 2017年度の住宅着工戸数は94.6万戸となり、前年度比△2.8%で3年ぶりの前年度割れ。着工全体の4割程を占める貸家は6月以降減少続き、41.0万戸(前年度比△4.0%)、持家は28.2万戸(同△3.3%)といずれも3年連続の減少。分譲マンションも10.8万戸(同△3.6%)で、2年連続の減少となる中、分譲戸建は13.8万戸(同2.3%)と3年連続で増加、2006年度以来の高水準。住宅着工戸数の57.3%を占める木造住宅は54.2万戸、前年度比△1.3%、3年ぶりに減少。木造住宅、持家は24.2万戸(前年度比△2.8%)で3年ぶりの減少、貸家は16.3万戸(同△1.8%)で2010年度以来7年ぶりの減少、分譲住宅は13.5万戸(同2.3%)で3年ぶりの増加。貸家着工は、相続税対策の一巡、金融機関の貸出慎重化、空室率など調整要因による減少続き、建築費や労務費の上昇等から持家着工なども減少が続いている。今後の住宅着工見通しについては2018・2019年度は、90万戸台半ばから前半との見方が多かった。今後、各種住宅関連支援策、消費税率引き上げ前後の動向を注視していく必要。
3. 国産材丸太(製材用)の動向 30年第1四半期実績は、各地出材旺盛、前年同期程度。素材業者は、機械装備の強化、バイオマス、合板等の需要が見込めることなど、出材順調、四国では大型工場の操業も開始。需要も地域差は多少あるも、プレカットを含め、受

注は安定、ツーバイフォーは、米材の急激な価格上昇から受注を控えたり、国産材への切り替えの声も聞くが、供給側からは国産材のデイメンジョンへの切り替えはすぐには困難との声多い。第2四半期は、各地の荷動きは3月、4月、5月と若干ずつ量が増加していると見られ、前年同期比増加、プレカットも大手を中心に必要な受注は確保されているとの見方があるが、原木価格、外材価格上昇している中、国産材製品の価格だけ取り残されているとの意見多かった。需要の先行き不安あるが、今年前半は昨年並みか若干上回る、第3四半期は、来年の消費税率の見直しまで、引き続き需要が安定という見方と、貸家需要の減少あるいは消費税率見直しの先食いが今年後半から需要減となって現れるとの二つの見方、外材価格上昇も必ずしも国産材への転換につながらず、木材全体の需要減につながるとの意見も、前予想より減少見通し、第4四半期は、都市圏では内装、リフォーム等の需要が増加傾向にあるが、工務店等の人手不足で対応できないとの情報も、徐々に住宅需要が落ち着いてくると予想、前年同期比で減少の見通し。

4. 国産材丸太(合板用)の動向 30年第1四半期実績は、堅調な住宅着工(特に構造用合板の需要増大)、国産材合板へのシフトの促進、輸入合板の減少傾向、フロア合板等への国産合板の需要増大、型枠用合板の需要増大傾向、南洋材合板等に関する違法伐採等の環境問題、国内合板工場のフル稼働、合

板工場の設備投資による生産能力・効率のアップにより前年同期比で増加。第2四半期は、前期要因に加え新設の合板工場の稼働開始により、前年同期比で増加、第3四半期は、前期要因と新設の合板工場の稼働増大により、前年同期比で増加、第4四半期は、前期要因と新設の合板工場のフル稼働により、前年同期比で増加の見通し。

5. 米材丸太需要動向 平成30年第1四半期実績は、前年同期に比べ減少、冬場としては、普通の需要量あったが、昨年後半からの丸太産地高が急すぎ、コスト転嫁に時間。足元、戸建て持家の着工減も響き、先行きが見通しにくく、第2四半期は、年間を通じての需要期、比較的活発な取引量は期待できるが、昨年を下回る勢い、着工数の減少の影響を受け始め、前年同期比減少、第3四半期は、プレカットなど総じて見通し良くなく、価格は高値に張り付き、荷動きも例年になく良くない、前年同期比減少、第4四半期は、今年後半は辛うじて横ばい推移、今後の産地価格推移、夏場の産地ファイヤークロージャーの状況によるが、内地需要面で例年に比べ良くないとの意見が多数。

6. 米材製材品需要動向 平成30年第1四半期実績は、国内マーケットは順調に出荷も、入荷量予測より少なく、出荷数量も減少、前年同期比減少。第2四半期は、国内需要家は在庫が品薄状態で、輸入入荷数量が、そのまま出荷され、前年同期比減少、第3四半期は、米国・中国の市況が好調の為、日本向

け出荷数量は増えず、出荷数量は前期数量継続維持、対日出荷が抑えられ、国内価格への転嫁出来ても、販売数量は伸びず、前年同期比減少、第4四半期は、盆休み以降の市況の見通し不透明、若干の停滞感を予想。米材製品価格の高騰により、代替え材へのシフトも見られ、需要も減少することが予想され、前年同期比減少見通し。

7. 米材、欧州材、北洋材、輸入集成材の供給動向

(1) 米材丸太供給 30年第1四半期実績は、輸出家が確保出来ず、カナダ数量が大幅減、一方、米国サイドは原木価格が上昇し、米国の森林オーナーの伐採意欲が掻き立てられ、若干数量が増加、その結果相殺され、前年同期より若干減少。第2四半期は、カナダ国内工場の在庫数量も正常に戻り、カナダ数量も回復、米国の数量も若干増加と仮定し、合わせて前年同期より増加、第3四半期は、通年通りファイヤークロージャーの影響で数量が減少、前年同期比減少、第4四半期は、昨年度のカナダ側での厳冬による伐採数量減を省くと、600千m<sup>3</sup>の数量は見込まれ、前年同期比増加の見通し。

(2) 米材製材品供給 30年第1四半期実績は、北米好況の影響で、過去4年同期比で一番少ない入荷。第2四半期は、北米好況により、主要材種SPF、ヘムロック、ダグラスファー全ての数量の減少、前年同期比減少、第3四半期は、北米の好況から価格も更に強含み、当用買いに徹する買付となり、需要時期も、入荷は限定的、前年同期比

減少、第4四半期は、必要最低限の入荷量に留まり、前年同期比減少見通し。

(3) 欧州材製材品供給 30年第1四半期実績は、暖冬による出荷遅れ、世界需要増、円安傾向、日本市場の停滞を反映し、前年同期比で減少。第2四半期は、前期要因により、前年同期比減少、第3四半期は、現地工場の生産・出荷が順調で、日本も安定的な買付、前期比増加、第4四半期は、今年の買付控えの結果、内地在庫調整済み、円高も寄与し買付の増加、年末の需要を考慮し、前年同期比増加見通し。

(4) 北洋材製材品供給 30年第1四半期実績は、例年通り比較的高水準の入荷、前年同期比増加。第2四半期は、中国向けを始め世界需要強く、価格高騰し、前年同期比減少、第3四半期は、端境期、価格高騰、他国市場強く、日本向けの勢い無く、数量伸びず、前年同期比減少、第4四半期は、世界需要増、為替にもよるが端境期、物理的に量限定、前年同期比減少見通し。

(5) 輸入構造用集成材供給 30年第1四半期実績は、暖冬、冬季休暇の影響で前年同期比減。第2四半期は、内地需要の勢い感じられず、一定量の買付、前年同期比減少、第3四半期は、内地需要に陰見られ、円安、現地価格高騰を反映し、入荷量は伸びず、前年同期比減少、第4四半期は、内地の在庫水準が高まるも、年末需要考慮し安定量の買付に終始、前年同期比減少見通し。

8. 南洋材製材品等の需要動向

(1) 南洋材丸太(製材用)需要 30年第1四半期実績は、年明けに原木入荷、

高品質が求められるボデイ材、船舶材向けの丸太は確保、前年同期並み。第2四半期は、4月出荷が前年同期並み、第3四半期は、梱包材用途は、減少傾向も製材向けは一定量の需要、サバ州の丸太輸出禁止、価格高騰、供給減、前年同期比で減少、第4四半期は、供給減、供給に見合った需要で前年同期比減の見通し。

(2) 南洋材製材品需要 30年第1四半期実績は、前年7月から住宅着工戸数前年割れ続き、実需減、前年同期比減少。第2四半期は、4月出荷は前年同期比95・9%、住宅着工戸数は前年同期比増加と回復見られるが、大きな動きなく、前年同期並み、第3四半期は、住宅向け好材料が見当たらないが、店舗やリフォーム物件でカウンターや棚板等で底堅い需要、前年同期並み、第4四半期はオリソピック関連、非住宅の動き期待できるが、前年同期比で減少見通し。

9. 国産、輸入合板の需要動向  
 (1) 国内製造合板需要 30年第1四半期実績は、住宅着工戸数は前年7月より連続で前年比減の推移、在来工法耐壁用途の構造用合板増加傾向、フロアリング用針葉樹合板等の非構造用途需要堅調に増加推移、前年同期比増加。第2四半期は、住宅着工戸数は第2四半期も前年比減、需要の減少要因、針葉樹構造用合板の耐壁壁や非住宅用途、非構造用途ではフロア合板、型枠合板用途向け拡大が一層進み、三重の新工場の稼働も非構造用途の供給側の後押し進む。需要は、大手プレカット工場

など回復も、中小工務店の引き合い落ち着いている。比較的構造用合板の引き合い強かった九州地区も落ち着き、前年同期比減少、第3四半期は、住宅着工戸数は前年水準に回復、建築基準法の一部改訂により非住宅分野での建築物の木造化も追い風、用途拡大が一層期待、オリソピック需要も遅れている合板型枠などの使用は、第2・3四半期に顕在化、前年同期比増加、第4四半期は、住宅着工数は消費税前駆け込みへ向け、持家などの木造住宅着工数回復し、前年同期並みの見通し。

(2) 輸入合板需要 30年第1四半期実績は、前年のサラワクの税率引上げ、丸太出材不足の中、駆け込み発注分集中入荷の余剰残るが、入荷減少し、前年同期に対して大きく下回り、前年同期比減少。第2四半期は、当初、集中入荷の反動減が第1四半期に現れると見たが、フロア合板ファルカタ合板のコンテナでの入荷、価格の先行き高や丸太不足から製品の手当て見られ、今期の入荷量は高い水準、出荷は、薄物・中厚合板などの品薄感の強いものは入荷水準に対応するも、過剰入荷量と思われるアイテムは在庫が積み増しになる、木造住宅着工数は弱含み推移、国内合板への転換、代替が加速度的に進み、出荷量は前年同期比減少、第3四半期は、第2四半期のラマダンなどに加え、マレーシア・サバの原木輸出禁止発表による一層の現地調達価格の上昇、契約見合わせの結果、供給(入荷)は減少、出荷は、住宅着工戸数の前年並みへの回復、持ち直し、不足感ある

10. 国内製造合板供給 30年第1四半期の実績は、堅調な住宅着工、国内合板工場フル稼働、輸入合板減少傾向、産地違法伐採対策等環境問題の影響、フロア合板用国産材合板の需要増大、設備投資による国産材合板の生産能力・効率のアップにより、前年同期比で増加。第2四半期は、前期要因に加え、新たな合板工場の稼働開始、型枠用合板の需要の漸増で、前年同期比増加、第3四半期は、前期要因により、前年同期比微増、第4四半期は、前期要因に加え、新たな合板工場のフル稼働により、前年同期比で微増の見通し。

7月豪雨被害状況概要 (7月26日現在)  
 1. 概況  
 6月28日以降、発達した梅雨前線は、台風7号の通過後、南下して活発化し、岐阜県、岡山県、広島県、愛媛県、福岡県等において記録的な大雨を降らせ、各地で甚大な被害が報告されています。

○人的被害  
 ・死者219人(広島県107人、岡山県61人、愛媛県26人、京都府5人、山口県3人、福岡県4人、高知県3人、兵庫県2人、鹿児島県2人、佐賀県2人、岐阜県1人、滋賀県1人、宮崎県1人、奈良県1人)  
 ・行方不明10人(広島県7人、岡山県3人)  
 ○林野関係被害  
 【林野関係被害】  
 林地荒廃1,367か所 被害額53,239百万円、治山施設76か所 被害額2,470百万円、林道施設等7,151か所 被害額18,639百万円  
 木材加工・流通施設38か所 被害額679百万円、特用林産施設等14か所被害額226百万円 計8,646か所被害額75,253百万円

○被害状況  
 2. 被害状況  
 ・死者219人(広島県107人、岡山

未来投資戦略2018(抄)  
 政府は、平成30年6月15日に未来投資戦略2018を閣議決定し、公表した。具体的施策の中で、林業改革が取り上げられており、その概要(抄)は以下のとおり。  
 1. 農林水産業全体にわたる改革とスマート農林水産業の実現  
 Ⅲ 林業改革  
 ① 原木生産の集積・拡大  
 ・森林の経営管理を、意欲と能力のある事業者が集積・集約化、それができない森林の経営管理を市町村が行う新たな森林管理システムを創設。このシステムを創設を踏まえ、来年度税制改正において、市町村が実施する森林整備等に必要なる財源に充てるため、森林環境税(仮称)及び森林環境譲与税(仮

称)を創設。  
 ・森林の経営管理を担う主体の育成・確保を図る。森林組合について、こうした観点から必要な制度の見直しを行う。

・林業の生産性を向上させるため、経営の集積・集約化を進めるエリアへの路網整備と高性能林業機械の導入を重点的に推進。

②スマート林業の推進

・林地台帳、境界情報等の基礎的情報やレーザー計測による高精度の資源情報の整備・公開、ドローンによる生育状況の把握等を進める、ICTを活用した機械の導入等による施業の効率化等を進める。

・地方公共団体や民間事業者が森林等の情報を共有できるデータベースを平成33年までに立ち上げる。

③生産流通構造の改革

・国産材の生産流通構造改革を、強力に進める。  
 ・木材需要の拡大のため、低層住宅における国産材の利用を促進、経済界等の協力を得て、非住宅や中高層建築物へのCLT(直交集成板)を含めた木材の利用拡大を促進。

・大規模製材事業者を中心としたバリューチェーンの全国での展開に向け、ロット、品質ともに安定した供給ができるよう、関連事業者との連携や製材工場、合板工場等の大規模化を進める。

・実需者の注文に応じた原木供給や、森林から住宅建設の現場に至る物流の最適化等、マーケットインの発想に基づ

きバリューチェーンの全体最適化が進められるよう、民間事業者が需給等のデータを共有する取組を促進。  
 ・国有林野の一定区域について、国有林野の有する公益的機能を維持しつつ、民間事業者が長期・大ロットの立木の伐採・販売という形で使用収益できる権利を得られるよう、次期通常国会に向けて国有林野関連の所要の法律案を整備。公共施設等運営権制度の活用がより効果的で必要な場合は併せてPFI法についても所要の措置を講ずる。

・流通段階のマッチングやコスト削減のため、地域の自伐林家や中小の製材工場なども含めた意欲ある事業者が参画し、情報交換等を行うフォーラムを設置する。

④木材需要の拡大

・「地域内エコシステム」として木質バイオマスの熱利用等を進める。  
 ・木材製品の輸出促進のため、日本の規格が相手国の基準に取り入れられるような環境整備を進める。  
 ・中規模木造ビルの普及促進を速やかに進めるため、関連する様々な事業者、事業者団体、利用者及び行政が連携するための場を立ち上げる。

⑤研究開発の推進  
 ・再造林コストの削減等、林業の現場ニーズを踏まえた研究と研究成果の現場実装の取組を強化。  
 ・早生樹の普及・利用拡大、セルロースナノファイバー、リグニン等の国際標準化や製品化等に向けた研究開発を進める。

■農林水産省夏の人事異動

平成30年夏の農林水産省の人事異動の概要は以下の通り(敬称略)。  
 ・退職 奥原正明(農林水産事務次官)・農林水産事務次官 末松広行(大臣官房付)・退職 沖修司(林野庁長官)・林野庁長官 牧元幸司(林野庁次長)・林野庁次長 本郷浩二(林野庁国有林野部長)・林野庁国有林野部長 小坂善太郎(林野庁計画課長)・経産省審議官 水野政義(林野庁林政課長)・林野庁林政課長 森田健児(経営局経営政策課長)・

関東森林管理局長 齋藤伸郎(東北大学大学院教授)・経営局保険課長 玉置賢(林野庁木材利用課長)・林野庁木材利用課長 長野麻子(官房広報評価課長)・技術会議研究推進課長 松村孝典(林野庁管理課長)・林野庁管理課長 鳥海貴之(生産局地域作物課長)・林野庁計画課長 橋政行(林野庁業務課長)・林野庁業務課長 関口高士(林野庁造林間伐対策室長)・林野庁造林間伐対策室長 長崎屋圭太(大臣官房調査官)・大臣官房調査官 石田良行(林野庁計画課総括)・林野庁計画課総括 石井洋(林野庁整備課総括)

■全市連会員名簿の訂正

過日、会員にお配りしました平成30年7月現在の全市連会員名簿の記載に誤りがありましたので、お詫び申し上げますと共に、次のとおり訂正をお願いいたします。  
 会員名簿9頁2行目青森県森林整備事業協同組合 理事長「川崎幸弘」(誤)とありますのは「川崎幸宏」(正)です。

雑記帳

サッカーワールドカップで、おっさん。と言われ、期待されていなかった日本チームが、予想を裏切って勝ち進み、ベスト16の決勝トーナメントに出、3位となったベルギーチームに逆転負けしたことは、記憶に新しいところ。日本チームの4戦の応援で、寝不足の方も多かったことと思う。日本選手の活躍に心から拍手を送ると共に、日本のファンの多くに勇気と希望を与えてくれたことに感謝したい。ワールドカップのあまりの盛り上がりのため、他の大イベントが少し霞んでしまったことも否めない。2014年12月に打ち上げられた「はやぶさ2号」が32億km(地球の直径の25万倍)の飛行を経て、目的の小惑星リュウグウ(現在の地球との距離約2.8億km)上空に到着したことである。2010年6月に満身創痍の「はやぶさ」が、60億キロの宇宙の旅を終え、世界で初めて小惑星イトカワから資料サンプルを持ち帰り、本体は大気圏で燃え尽きた。「はやぶさ2号」は、その後継機で小惑星リュウグウを探索して、サンプルを持ち帰り、生命誕生の謎を解明することを目的する小惑星探査機である。リュウグウの上空に1年半にわたって滞在し、資料採取や着陸機の投入など多くのミッションが計画されており、計画通り行けば2020年末に地球に帰還する予定(打ち上げからの総飛行距離約52.4億km)。サッカーワールドカップ同様に、困難なミッションをクリアして、無事な帰還を祈りたい。7月豪雨被害からの復旧・復興をお祈りします。



# 暑中お見舞い申し上げます



〔この度の「平成30年7月豪雨」により被災された方々に対して、心より深くお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。〕

## 東京木材市場株式会社

代表取締役社長 市川英治  
代表取締役専務 村井宏次

本社・市場

〒136-0082 東京都江東区新木場2-1-8  
TEL 03-3521-7111 (代表)  
FAX 03-3521-7115

市日 毎週木曜日

TEL 03-3521-7121 (市売)  
<http://www.tomoku-ichiba.co.jp>

越谷センター

〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1-130  
TEL 048-989-0171  
FAX 048-989-0174

## 西垣林業

代表取締役会長 西垣泰幸  
代表取締役社長 西垣雅史

- ・桜井市場  
〒633-0064 奈良県桜井市戒重137  
電話 (0744) 46-3800 FAX (0744) 46-3838
- ・名古屋市場  
〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町3-23  
電話 (052) 811-7131 FAX (052) 824-8297
- ・舞鶴事業所 / 舞鶴工場  
〒624-0945 京都府舞鶴市大字喜多小字片淵243-4  
電話 (0773) 75-3215 FAX (0773) 75-4876
- ・浜松事業所 / 浜松工場  
〒438-0804 静岡県磐田市加茂1225-1  
電話 (053) 832-5204 FAX (053) 832-4436
- ・茨城事業所  
〒319-0105 茨城県小美玉市鶴田字兵庫久保730-5  
電話 (0299) 35-7160 FAX (0299) 35-7161
- ・酒田事業所 / 酒田工場  
〒998-0005 山形県酒田市宮海字明治99-10  
電話 (0234) 33-5704 FAX (0234) 33-1868
- ・四国事業所  
〒783-0060 高知県南国市蛸が岡1-1-1-304号室  
電話 (088) 821-6996 FAX (088) 821-6997
- ・豊田事業所 / 豊田工場  
〒470-0371 愛知県豊田市御船町山ノ神56-116  
電話 (0565) 77-1077 FAX (0565) 77-1078
- ・高山出張所
- ・栃木出張所

## 東京木材市場協会

会長 市川英治

<p>〒136-0071 江東区亀戸六一五七一一九 丸字本社ビル 代表取締役社長 押本雅壽 電話 〇三三六九〇四一八一四一 FAX 〇三三五六二八一三七二二</p>	<p>〒279-0032 浦安市千鳥一三三 代表取締役社長 飯島義雄 電話 〇四七一三五五〇〇〇一 FAX 〇四七一三五五〇〇〇一</p>	<p>〒156-0057 世田谷区上北沢五三三七一八 代表取締役社長 萩原友隆 電話 〇三三三三〇四一五三一 FAX 〇三三三三〇四一四三一五</p>	<p>〒171-0044 豊島区千早一〇一〇一三三 代表取締役社長 廣木俊一 電話 〇三三三九五九一七八一 FAX 〇三三三九五八一三五九二</p>
<p>〒112-0004 東京都文京区後楽一七一一二 （一般社団法人全日本木材市場連盟内） 代表取締役社長 梶本弥彦 電話 〇三三三八一八一八九〇六 FAX 〇三三三八一八一八九〇七</p>	<p>〒179-0081 練馬区北町六一三二一三六 代表取締役社長 西村信洋 電話 〇三三三九三四一四二一八 FAX 〇三三三九三四一四二二六</p>	<p>〒136-0082 江東区新木場二一一一八 代表取締役社長 市川英治 電話 〇三三三五二一七一 FAX 〇三三三五二一七一五</p>	<p>〒300-0873 茨城県土浦市荒川沖町 南区一〇一三 代表取締役社長 梶本弥彦 電話 〇二九一八四二一九八八一 FAX 〇二九一八四二一九八六二</p>

新東京木材商業協同組合

理事長 廣木俊一

株式会社東京第一木材市場

代表取締役社長 梶本弥彦

東京新宿木材市場株式会社

代表取締役社長 萩原友隆

東京木材市場株式会社

代表取締役社長 市川英治

東京中央木材市場株式会社

代表取締役社長 飯島義雄

株式会社東京木材相互市場

代表取締役社長 西村信洋

丸宇木材市売株式会社

代表取締役社長 押本雅壽

東京木材市場協会

事務局



本 社  
〒849-4252 佐賀県伊万里市山代町楠久津145番地30  
TEL 0955-20-2183 (代表) FAX 0955-28-2855

福岡営業所  
〒824-0604 福岡県田川郡添田町野田 1927  
TEL 0947-82-5010 FAX 0947-82-5011

大分営業所  
〒879-5413 大分県由布市庄内町大龍 1208-1  
TEL 097-586-2210 FAX 097-586-2230

南九州営業所  
〒899-8606 鹿児島県曾於市末吉町深川 8866 番地  
TEL 0986-28-0228 FAX 0986-79-1777

南九州営業所 第二土場  
〒899-8606 鹿児島県曾於市末吉町深川 8515 番地 2  
TEL 0986-36-4880 FAX 0986-36-4881

糸島事業所 木の駅「伊都山燦」  
〒819-1563 福岡県前原市高来寺 342 番 1  
TEL 092-331-5020 FAX 092-331-5021

ホームページ <http://www.imarimokuzai.co.jp>  
メールアドレス [imamoku@imarimokuzai.co.jp](mailto:imamoku@imarimokuzai.co.jp)

### 株式会社東海木材相互市場

代表取締役社長 鈴木和雄

本 社  
〒456-0033 名古屋市熱田区花表町21-1  
電 話 052-881-1551  
F A X 052-881-3082  
E-mail [info@kirakuninet.com](mailto:info@kirakuninet.com)  
<http://www.kirakuninet.com>

西部市場 市日 毎週火曜日  
〒490-1444 愛知県海部郡飛鳥村木場 1-17  
TEL 0567-55-0155 FAX 0567-55-2538

大口市場 市日 毎週金曜日  
〒480-0121 愛知県丹羽郡大口町河北 2-2  
TEL 0587-95-1101 FAX 0587-95-1105

サテライト美並  
〒501-4101 岐阜県郡上市美並町上田字小倉塚2516番 1  
TEL 0575-79-5055 FAX 0575-79-5060

サテライト名倉  
〒441-2432 愛知県北設楽郡設楽町東納庫ムカイ山16番  
TEL 0536-63-3456 FAX 0536-63-3535

飛騨匠工場  
〒506-0035 岐阜県高山市新宮町112番地 B  
TEL 0577-36-5439 FAX 0577-36-5939

### 木曾官材市売協同組合

理事長 野村 弘

定例市日

原木 萩原事務所 月 1 回  
坂下事務所 月 2 回  
国有林土場活用委託 月 1 回  
製品 月 1 回

〒399-5604 長野県木曾郡上松町正島町 2-45  
電 話 0264-52-2480 (代表)  
<http://www.kisokan.com>

### 千葉県木材市場協同組合

理事長 吉岡 實

定例市日 毎週木曜日

〒283-0823 千葉県東金市山田800  
T E L . 0475-55-6161  
F A X . 0475-55-6171

<http://www.mokuichi.or.jp/index-kumiai.htm>

### 茨城県木材市場協会

〒310-0826 水戸市渋井町50番地  
株式会社 茨城木材相互市場 内  
TEL 029-221-3111  
FAX 029-221-3393

電話 029-613-0170 (一代)  
〒304-0005 下妻市大字半谷一〇〇一三

市日 毎週金曜日  
丸字木材市売株式会社  
下館市市場  
代表取締役社長 押本雅壽

電話 029-1842-1988 (一代)  
〒300-0873 土浦市荒川沖町南区一-一三

市日 毎週火曜日  
株式会社東京第一木材市場  
土浦市場  
代表取締役社長 梶本弥彦

電話 029-1847-4128 (一代)  
〒300-2635 つくば市東光台五-一三

市日 毎週木曜日  
株式会社東京木材相互市場  
相互筑波市場  
代表取締役社長 西村信洋  
市場長 飯島嘉治

電話 029-1241-1321 (一代)  
〒310-0851 水戸市千波町一八八四

市日 毎月18日  
株式会社ミトモク  
代表取締役社長 安藤裕一

電話 029-1221-3121 (一代)  
〒310-0826 水戸市渋井町五〇

市日 毎月13日  
株式会社茨城木材相互市場  
代表取締役社長 打越芳男  
代表取締役専務 大谷知行

### 関東木材センター協会

会 長 内 田 鉄 夫  
副会長 飯 島 義 雄  
会 計 本 多 雅 治  
監 事 菊 地 實

#### 事務局

〒171-0044 豊島区千早 1-20-13  
新東京木材商業協同組合内  
電 話 03-3959-7811  
F A X 03-3958-3592

### 愛知県木材市場連盟

会 長 石 井 保 治

(株)東海木材相互市場 西 垣 林 業 (株)  
三河材流通加工事業協 (株)東海木材市場  
(株)衣浦木材市場 本 州 市 売 (株)

#### 愛知県木材市場連盟問屋部会

会 長 川 出 泰 之

事務局 〒456-0033  
名古屋市熱田区花表町21-1  
(株)東海木材相互市場  
T E L 052-881-1551  
F A X 052-881-3082

### 全日本木材市場連盟北陸支部

支部長 柳 原 正 紀

#### 【加盟木材市場】

株式会社富山合同木材市場 (076-452-1155)  
株式会社高岡木材市場 (0766-52-2131)  
富山県森林組合連合会 (076-434-1750)  
福井県嶺北木材林産協同組合 (0776-53-0221)  
福井県木材市売協同組合 (0776-41-3730)  
福井県森林組合連合会 (0776-38-0345)  
若狭木材流通センター協同組合 (0770-45-3500)  
株式会社名田庄ウッドイヤーセンター (0770-67-3386)

### 徳島県木材市場連盟

会 長 岡 田 育 大

〒770-8001  
徳島市津田海岸町 4 番31号  
株式会社ゲンボク内

(株)徳島中央木材市場 088-662-5210  
大 一 木 材 (株) 088-664-6333  
丸 幸 産 業 (株) 088-663-2303  
(株) ゲ ン ボ ク 088-663-2275

### 三重県木材市売連盟

会 長 中 川 浩 之  
副会長 村 林 稔

#### 【加盟木材市場】

鈴 鹿 木 材 (株) 熊野原木市場協  
(株)東京木材相互市場 伊 山 市 売 木 材 (株)  
三重事業所マルタピア (有)美杉木材市場  
ウッドピア市売協 松 阪 地 区 木 材 協  
中 川 林 業 (株) 松 阪 木 材 (株)  
(有)丸天木材市場 尾 鷲 木 材 市 場 協  
事務局 〒515-0814 松阪市久保田町208  
中川林業(株)内  
TEL 0598-51-6602 FAX 0598-51-1272

### (一社)全日本木材市場連盟

会 長 西 垣 泰 幸

#### (事務局)

専務理事 小 合 信 也  
事務局長 立 花 登

<http://www.zennichiren.com/zennichi22@gmail.com>

電子メール利用推進中ですので  
ご協力お願いいたします。

### 愛媛県木材市場連盟

会 長 二 宮 政 文

〒798-1124 宇和島市三間町増田389  
大木坑木有限会社宇和島出張所内

大木坑木(有)宇和島出張所 (0895) 58-3033  
(株)宇和原木市場 (0894) 62-2851  
(株)久万木材市場 (0892) 21-1175  
(株)日吉原木市場 (0895) 44-2822

### 香川県木材市場連盟

会 長 樋 口 高 良  
副会長 加 藤 浩 一

〒760-0055  
高松市観光通 2-10-15  
(株)太洋木材市場内

(株)太洋木材市場 TEL(087)833-2311  
FAX(087)831-3040  
ナイス(株)香川営業所 TEL(0875)25-3099  
FAX(0875)24-1336

### 秋田中央木材市場株式会社

代表取締役社長 工 藤 茂 丸

〒010-0941  
秋田市川尻町字大川反232-7  
TEL 018-863-2121  
FAX 018-863-2120

### 市日 第1・第3水曜日 株式会社 仙台木材市場

代表取締役社長 守 屋 長 光

〒983-0036  
仙台市宮城野区苦竹 2 丁目 7 番30号  
TEL 022-232-1101  
FAX 022-232-1107  
<http://www.s-itiba.com/>

### 青森県森林整備事業協同組合 青森原木市場

理事長 川 崎 幸 宏

〒030-0955  
青森市大字駒込字桐ノ沢129-1  
TEL 017-743-5411  
FAX 017-743-5410

<p><b>愛知県木材市場連盟 問 屋 部 会</b>          部長 川 出 泰 之          〒480-0121          丹羽郡大口町河北 2-2          (株)ナゴヤ辻文内          TEL 052-821-0156</p>	<p><b>全日本木材市場連盟 中 国 支 部</b>          支部長 山 下 薫          (加盟木材市場)          石谷林業(株)智頭支店 0858-75-0635          (株)倉吉木材市場 0858-26-0251          (株)米子木材市場 0859-27-0721          (株)出雲木材市場 0853-21-1855          (株)益田木材市場 0856-22-0697          (株)福山中央木材市場 0849-63-1001          (株)勝山木材市場 0867-44-2600          津山木材市売(株) 0868-22-6246          (株)津山綜合木材市場 0868-28-7777          (株)岡山木材相互市場 086-296-0306          (株)岡山木材市場 086-272-2178          真庭木材市売(株) 0867-42-0602          事務局 真庭木材市売(株)内          〒719-3203 岡山県真庭市富尾 1          TEL 0867-42-0602          FAX 0867-42-2600</p>	<p><b>岐阜県銘木協同組合</b>          10月には第60回          全国優良銘木展示即売会を          開催します!!          理事長 吉 田 芳 治          岐阜市茶屋新田 3 丁目90番地          tel 058-279-0788 fax 058-279-2156          URL <a href="http://www.gifu-meiboku.com">http://www.gifu-meiboku.com</a>          E-mail <a href="mailto:meiboku@ccom.or.jp">meiboku@ccom.or.jp</a></p>
<p>市日 毎週水曜日  <b>松阪木材株式会社</b>          取締役社長 村 林 稔          〒515-0088          三重県松阪市木の郷町21          TEL 0598-20-2323          FAX 0598-20-1082</p>	<p><b>(協)高知県木材市場連盟</b>          高知県林材株式会社          株式会社ゲンボク市場          事務局 株式会社ゲンボク市場内          〒781-5101          高知市布師田字金山3936-1          TEL 088-845-1790          FAX 088-845-1793</p>	<p><b>九州木材市場連合会</b>          会 長 林 雅 文          (株)伊万里木材市場          副会長 五十嵐 可 久          都城地区製材業協同組合          副会長 多 田 啓          (株)アサモク          事務局 株式会社伊万里木材市場内          〒849-4252 伊万里市山代町          楠久津 145-30          TEL 0955-20-2183          FAX 0955-28-2855</p>
<p>毎市のご協力・感謝申し上げます  <b>株式 九州木材市場</b>          取締役会長 田 中 正 史          取締役社長 田 中 昇 吾          取締役副社長 田 中 史 郎          定例市日 8 日 23日          〒877-1231          大分県日田市大字三和2726-10          TEL 0973-24-3625          FAX 0973-24-3626</p>		

## 林業・木材産業の皆様の融資を支援いたします。

当基金は、法律により国や都道府県の出資をもとに設立された公的機関で、昭和38年の林業信用保証制度の創設以来、多くの皆様にご利用いただいております。

「銀行から融資を受けたいけれど・・・」とお考えの林業・木材産業の経営者の皆様、もしも返済できなくなった場合に当基金が返済を肩代わりする**債務保証**を利用すれば、融資が受けやすくなります。

○事業に必要な資機材の購入、人件費や燃料費の支払い ○災害等で事業に入れられない期間の掛かり増し経費 ○事業規模の拡大などで一時的な資金が必要な方にもご利用いただけます。

まずはお近くの銀行、信用金庫、信用組合などの金融機関、当基金の窓口へお気軽にご相談ください。



林業・木材産業信用保証

### 独立行政法人 農林漁業信用基金



〒101-8506 東京都千代田区内神田 1 丁目 1 番12号 (コープビル11階)

TEL:03(3294)5585~5586 FAX:03(3294)5595 URL:<http://www.jafflc.go.jp>